

THE NARASHINO CHUO ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN

習志野中央ロータリークラブ週報

会 長 井上 大輔
幹 事 寺田 良一

例会日：木曜日 12 時 30 分

例会会場：習志野商工会議所会館 3F

事務局：千葉県習志野市津田沼 4-11-14

2026-27 年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

「Create Lasting Impact」 持続可能なインパクト生み出そう

第1821回 2026年 7月 16日 例会

司会：金子 友之 週報：三代川 彦博・三代川 浩一

◆ 点 鐘 会長 井上 大輔

◆ ロータリーソング 「それでこそロータリー」

◆ 会長挨拶 会長 井上 大輔



昨日は、習志野ロータリークラブハメークアップに行っていました。

ちょうどクラブ協議会が開催されており、各委員長から今年度の活動方針が発表され

ていました。その中で印象に残ったのが、夜間例会をクラブラーニング委員会が担当し、毎回テーマを変えてディスカッションを行うという取り組みです。クラブによって運営方法にはさまざまな工夫があり、大変勉強になりました。当クラブでも参考にできることがあると感じました。

また、先週の土曜日には、地区親睦野球リーグで千葉西ロータリークラブとの試合がありました。伊藤寛会員の力投もあり、6対0で勝利することができました。暑い中、寺田幹事、中西さんをはじめ、四街道ロータリークラブの遠藤グループ補佐幹事、佐倉ロータリークラブの佐久間会長・固本幹事、八千代ロータリークラブの山口事務局にも応援に来ていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。公式行事だけでなく、このようなスポーツを通じて12グループの皆さんと交流し、親睦を深められることも、ロータリーの大きな魅力だと改めて感じました。こうしたメークアップやクラブ間の交流を通じて、改めて感じたことがあります。それは、ロータリーは「人とのつながり」から始まる団体だということです。

そこで本日は、少し原点に立ち返って、「ロータリーの目的」についてお話ししたいと思います。

ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」です。その考え方は、次の四つの目的に分かりやすく示されています。

一つ目は、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすることです。

昨日のメークアップや先日の野球大会でも、多くのロータリアンと交流することができました。こうした出会いや友情が、新しい奉仕や協力につながっていくことこそ、ロータリーの原点なのだと思います。

二つ目は、職業上の高い倫理基準を保つことです。私たちは、それぞれの仕事に誇りを持ち、誠実に行動することで、お客様や地域からの信頼を築いています。その積み重ねが、社会への貢献につながります。

三つ目は、職業を通じて社会に奉仕することです。

ロータリーには「職業奉仕」という、他の団体にはあまり見られない考え方があります。私も生命保険の仕事をしていますが、お客様やご家族の将来と一緒に考え、安心して人生を送っていただくお手伝いをすることが私の使命だと思っています。会員の皆さんも、それぞれの専門性を生かして社会に貢献されています。その仕事に誇りを持ち、誠実に取り組むこと自体が、ロータリーの職業奉仕なのだと思います。

四つ目は、奉仕の理念を持って地域社会や国際社会に貢献し、世界の理解・親善・平和を推進することです。

今年、私たちは放課後児童会への EEH プロジェクトや野球教室を通じて地域の子どもたちを応援するとともに、新たな国際奉仕としてフィリピン・ダバオの子どもたちへの衣料品支援にも取り組みます。地域であっても、世界であっても、その根底にあるのは「誰かの役に立ちたい」という思いです。

今年のクラブテーマは、「Lead with Heart — 心ある行動が、未来を変える —」です。ロータリーの目的は、決して難しい言葉ではありません。人とつながり、仕事に誇りを持ち、その力を地域や世界のために生かすこと。私は、その実践こそが「Lead with Heart」だと考えています。

一人ひとりの心ある行動が、クラブを、地域を、そして未来をより良くしていく。そんな一年を皆さんと一緒につくっていきたいと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 幹事報告 幹事 寺田 良一

1・習志野市社会福祉協議会より「特別会費の納入」の御礼状が届いております。

2・プラモデル同好会より、第9回会合のご案内をいただいております。

日 時 2026年9月5日(土) 13:00~

場 所 ちばセミナールーム 会 費 ¥2,000



◆ 委員会報告

□奉仕プロジェクト委員会 河手 正直

7月13日 習志野市民まつり実行委員会に参加してまいりました。同日習志野市役所児童育成課様と EEH について打ち合わせを行いました。

ダバオのロータリークラブ宛の井上会長メッセージを作成して頂きました。事前に送付して了解を得た上で訪問したいと考えております。

□社会奉仕委員会 中西 秀治

7月13日 習志野市民まつり実行委員会総会に、河手会員、土屋会員、私にて参加してきました。内容に関しては、実行委員会構成団体の退会及び入会の承認、および「習志野きらっと 2026」実施計画の確認等でした。当クラブの活動としましては、また詰まり次第ご報告いたします。

また、同日子ども部児童育成課の渡辺課長、番匠係長へ訪問し、井上会長、河手会員、私とで EEH プロジェクトの件で打ち合わせをして来ました。本年度は、大久保第一・第二・第三・第四児童会、大久保東第一・第二児童会、藤崎第一・第二児童会の計8児童会への贈呈となります。贈呈品に関しては、10月末までに各児童会からの要望を子ども育成課にて取りまとめいただき、当委員会へ投げてください。前年度の要望の中でマンガが出たらしいのですが、本年度は「マンガであれば知育系のものにしてください。」と伝えてあります。こちらに関してもまた進捗があり次第ご報告させていただきます。

□親睦委員会 鶴岡 健一

11月10日(火) 習志野市民親睦ゴルフ 兼 第38回マスターズゴルフ大会

佐倉カントリー倶楽部 18,900円 参加費 2,000円

□少年野球協賛について 三代川 雄哉

井上会長とご相談のうえ、委員会報告ではありませんが、お時間をいただきご案内させていただきます。

内容は ALL 習志野野球チーム 全国大会出場支援のお願いです。

習志野市内の公立中学校7校、私立中学校1校から選抜された「ALL 習志野」が、令和8年度千葉県中学生選抜野球大会で優勝し、岩手県で開催される第9回全国中学生野球大会への出場を決めました。

全国大会出場にあたり、遠征費や宿泊費など多額の費用が必要となることから、選手たちが経済的な負担を気にすることなく全国の舞台で力を発揮できるよう、ご支援をお願いするものです。

会員の皆様から個人でいただいたご寄付と、理事会で承認をいただければクラブからの協賛金を合わせ、習志野中央ロータリークラブとして協賛させていただく予定です。

習志野市で頑張る子どもたちの夢を応援するため、皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 新会員自己紹介

□戸村 文彦

7月より入会しましたトムラ フミヒコと申します。

1960年7月6日生まれ A型 日が沈みましたら、どうぞミックと呼んでください。
今後ともよろしくお願いします。

□大矢 倫子

細橋市で建設業、リフォーム業を営んでおります。

仕事の関係で、YouTubeの配信をしています。「姉ちゃんと僕は一級建築士」

趣味は、旅行やゴルフ。特技は、太りやすいことです。

家族は3人で、息子は大学生で夫婦2人の時間の過ごし方を模索中です。

私は、高橋利幸直前会長の紹介で入会しました。

井上会長の元、足手まといいにならないよう、クラブテーマで大切にされている「心」
を大切に活動して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



◆ クラブ協議会

□親睦活動委員会 鶴岡 健一

井上年度、親睦委員リーダーを仰せつかりました鶴岡です。活動計画書の42ページ
をご確認ください。

親睦はクラブ運営の土台であり、人と人とのつながりが奉仕活動の力になります。

井上会長のクラブテーマ「Lead with Heart — 心ある行動が、未来を変える —」
のもと、親睦委員会は会員相互の理解と友情を深め、温かく参加しやすいクラブ運
営に寄与することを目的とします。例会・事業・懇親行事を通じて、「参加して良かった」「仲間とつなが
れた」と感じられる雰囲気づくりを推進し、会員同士の交流促進とクラブ活性化に図りたいと思います。

ロータリークラブにおける親睦活動の意義を理解し、会員同士が信頼を深めながら
クラブの発展に寄与できるような活動を委員の皆様と推進していければ幸いです。

皆様には深いご理解とご協力を心よりお願いいたします。

□出席委員会 中村 隆吾

皆様、お忙しいと思いますが、昼例会が都合がつかなければ夜例会へのご参加を。

しばらく例会参加をしていない方への連絡を行います。

□クラブ会報委員会 三代川 彦博

週報担当の三代川彦博です。井上会長の「クラブの今」を会員皆さんと共有し親睦
を含めて〈また来たい〉と思える空気づくりを週報からも微力ながら応援出来れば
と思います。会員一人一人の秘めた魅力を最大限表現して頂き井上ワールドを体現
し広く親しまれる週報を目指す為に会員皆さんにスピーディーなご支援、ご協力を
お願いいたします。

□プログラム委員会 金子 友之

会員相互の親睦を図る上で最も重要なものの一つに例会への出席があります。例会
出席は義務感からではなく、「楽しいから出席する」と会員全員に感じてもらうよ
う各委員会と協力するなどし、魅力あるプログラム構成に努めてまいります。

出席率の向上に繋がるよう、毎月の例会プログラムを企画していきますが、特にフ
リートークのテーマにこだわり、会員皆さんが「話したい」と思えるようなテーマ
を設定します。また、数字の目標としては、平均出席率70%以上を目指します。



□広報・公共イメージ委員会 山崎 由美

広報・公共イメージ委員長を仰せつかりました、山崎です。

今年度は井上会長の意向で、雑誌小委員会とロータリー情報小委員会をまとめて、雑誌・ロータリー情報小委員会となりました。

リーダーは三代川雄哉会員です。テーマと基本方針は活動計画書をご覧ください。

昨年度の三代川雄哉委員長から引き続き、ホームページの作成をしています。

今まで、ホームページの制作会社が変わって、ホームページが止まったりしていましたが、今回からは、松村会員の奥様の会社に運営をお願いして、連携を取っていききたいと思います。



□奉仕プロジェクト委員会 河手 正直

〈活動方針〉

奉仕プロジェクト委員会は、クラブテーマ「Lead with Heart ― 心ある行動が、未来を変える ―」のもと、“心が伝わり、記憶に残る奉仕”の実践を目指します。回数や規模ではなく「相手の心に何が残ったか」を大切に、会員が無理なく・楽しく・自然と参加したくなる環境を整えるとともに、単年度に終わらない未来へ続く仕組みを構築してまいります。

〈基本方針〉

1. 心が伝わる奉仕：相手の立場に立った温かみのある企画と直接的な交流を重視。
2. 参加しやすい仕組みづくり：短時間・部分参加の受容や、初参加者も入りやすい雰囲気づくり。
3. 次世代につながる活動：青少年育成や地域との持続的な関係性の構築。

〈実施計画〉

- 新規事業：現地ロータリークラブと連携したダバオ（フィリピン）への衣料支援を実施し、国際奉仕の基盤を作る。
- 既存事業の充実：
 - EEH プロジェクト（4年目）：児童との交流機会の充実や物品選定への参加型プロセスの導入。
 - きらっと祭り出店：青少年向け企画の継続、ポリオ撲滅・クラブ活動の発信。
 - 地域ごみゼロ運動：開催場所・参加層の拡大と地域接点の強化。
 - 花の実園さくら祭り：「おえかきトラック」への支援を通じた子どもたちの感性育成と地域交流。



□社会奉仕・環境委員会 中西 秀治

活動方針・実施計画に関して活動計画書の中から抜粋してご説明させていただきます。

〈活動方針〉

井上会長が掲げるテーマ「Lead with Heart ―心ある行動が未来を変える―」のもと地域社会に寄り添い、心の通う奉仕活動を実施してまいります。

また、子供たちや青少年の健全育成・地域環境美化・地域団体との連携など地域に役立てた社会奉仕活動を目指し、会員同士の親睦やクラブの一体感も深められるような活動を目指します。

〈実施計画〉

一つ目に「ごみゼロ運動」会員だけでなく家族や地域住民、関係団体との交流を深められたりできるような活や、開催場所も工夫できるようにしていきたいです。

二つ目に地域イベントへの協力・参加 前年度同様、キラッと祭りでの出店、花の実園桜まつり参加やその他イベントなどへの参加を通じて、ポリオ根絶運動にも専念し地域と繋がる活動を目指します。

三つ目に EEH プロジェクト 単なる物品の支援にとどまらず、子供たちとの繋がりを深められる活動を目指します。



四つ目にフードドライブ活動への協力 前年度の実績に基づき継続的に進めていきます。

以上、RI テーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」にもあるように次年度にも繋がる、継続的かつインパクトのある活動にしていきますので会員の皆様宜しくお願いいたします。

□国際奉仕小委員会 中島 広明

国際奉仕はロータリーの5大奉仕で有る。パロセロナの国際大会参加を推進する。
国際交流協会と連携して協力する。



□青少年奉仕委員会 小菅 和彦

井上年度、青少年奉仕委員長を仰せつかりました小菅です。

活動計画書の56～57ページをご確認ください。当クラブでは、青少年交換、RYLA、ローターアクトの3つの小委員会を設けていますが、それぞれ、横井リーダー、荒木リーダー、伊藤寛リーダーにお任せしております。各小委員会毎にみていきますと、まず、青少年交換では、今年度、応募があればですが、面談や書類選考により適正に審査して、スポンサークラブとして、地区と連携して、派遣候補生を補佐しながら次年度の交換生の受け入れの準備をしたいと思います。次に、RYLAでは、例年同様、会員から実行委員を輩出するなど、地区の主催するRYLA活動に協力したいと思います。そして今年度は米山奨学生1名と会員1名をRYLA参加者として送り出して支援たいと思います。さらに、ローターアクトは、今、存亡の危機にあるRACを存続させる方針を原則とし、地区と連携しながら、今後のRACの活動、組織、会員増強などをローターアクトと一緒に考え、方向性を決める契機となる一年としたいと思います。



最後に、当クラブ会員が、次世代を担う青少年のリーダーを育成することに熱意を持って心から行動することで青少年たちの未来を変えていく、このことをスローガンとして活動したいと思います。

□ロータリー財団委員会 三代川 浩一

活動方針としましては、クラブテーマの「リード ウィズ ハート」、心ある行動が未来を変えるものとして、ロータリー財団を心ある行動を持続可能なインパクトにつなげる仕組みとして活用して参ります。

基本方針としましては、 ①共感を生む理解の促進 ②無理のない参加文化 ③奉仕とつながる財団活用

数値目標といたしましては、年次寄付を一人当たり 225 ドルとしたいと考えております。ちなみに昨年は300ドルでした。円安も考慮

実施計画としましては 1. 理解の促進（財団の役割と寄付の使われ方について共有したいと考えています） 2. 参加しやすい仕組みづくり（1,000ドル単位ではなく、毎月の積立も奨励したいと考えています）。 3. 奉仕との連携（今年で4年目となる EEH の活動を推進して参りたいと考えています） 4. 補助金の申請と報告（漏れないように早めに地区補助金の申請をしたいと考えています）

まとめに、ロータリー財団は、心ある行動を未来へつなぐ仕組みです。一人ひとりの思いを大切にしながら、無理なく、前向きに関われる財団活動を通じて、クラブ奉仕とインパクトを高めて参りたいと考えております。以上、ご協力をお願いいたします。



□米山記念奨学委員会 山本 美代子（井上会長代読）

今年度は全員女子でかためてみました。山崎由美（カウンセラー）高山貴子、杉浦克子、大矢倫子さんです。米山は留学生に奨学金を支援し、日本と世界の架け橋となり国際社会で活躍をする人材を育成しています。今年度もロシアから米山奨学生エレナさんを迎え、会員との交流を深めております。

今まで、コンちゃん、テムル君、アリユウ君、センチちゃん、みんないい子たちで現在も連絡がとれる環境で、いい関係が続いていることに感謝です。

米山学友BBQ大会が、10月10日幕張イオン会場で行います。昨年は、クラブから数名の方にご参加頂き盛り上げて頂きました。今回もクラブから数名ご参加頂けましたら嬉しいです。

寄付に関しましては、7月9日に伊東弘樹会員10万、三田英志会員10万、頂きました。

私、山本はガバナー訪問日に10万予定しております。ご寄付の予定のある方は、どうぞよろしくお願い致します。

◆ ニコニコ BOX

結婚記念日祝いお礼 小菅 和彦

◆ 出席委員会 中村 隆吾

会員数	出席免除	当日出席	メイクアップ	出席	欠席	出席率
46	1	27	6	33	12	73.33%



7月11日（土） ゴミゼロ

